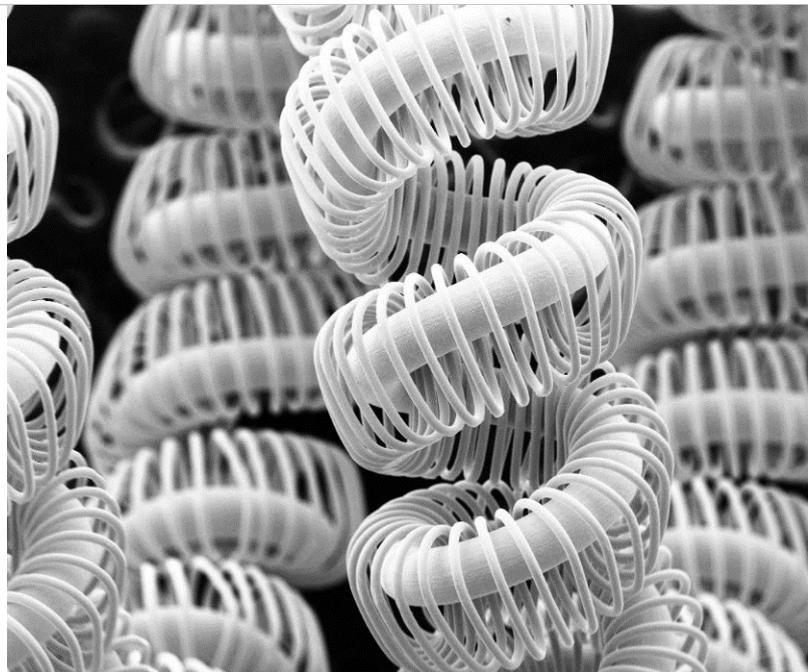


マンドレルレス機の特徴

二輪、四輪車用のストップ、テール、シグナルランプには、タングステンワイヤーをコイリングしたフィラメントが使用され、形状には足あり、足なしタイプが存在し、タングステン素材としては、加工性に優れたドーブタングステンが使用されます。

通常タングステン線をモリブデン線に巻付け、その後所定の長さに切断し、芯線を溶解し製造します。

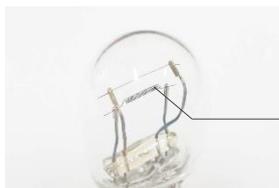
当社では、機械的に芯線を出入りさせる、独自の巻線技術によって、足ありフィラメントの製造に成功しました。



マンドレルレス機の特徴

マンドレルレス巻線の製造可能範囲は、必要なタングステン線径において、上下限が存在します。

線径が細くなると、コイリング可能範囲が狭くなり製造が難しくなります、当社ではサーボモーターを導入し、ワイヤー張力制御技術を高度化し、巻き込み位置と巻線速度を細かく管理する事で、細線巻線が可能になりました。従来のMo芯線利用の巻線技術と比較し、溶解工程で発生する有害ガス処理、溶解廃液処理が不要となり、環境への負荷を大幅に低減する事ができました。



ストップランプ



足ありフィラメント

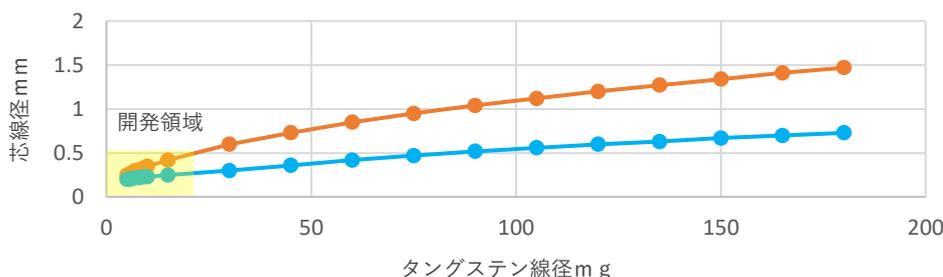


シグナルランプ



足なしフィラメント

マンドレルレス機の製造可能範囲



足ありフィラメントの特徴

電球は構造上、フィラメント端部を導入線でクランプする必要があります、足なしタイプのフィラメントでは、クランプする位置のフィラメントに大きな塑性変形が加わり、断線し易くなる弱点があります、足ありフィラメントでは、このような変形が無く、断線発生を低減できます。

その他ご要望ございましたらお気軽にご相談ください。

 **WITHUP** 株式会社 ウィザップ偕揚社

☎ 0463-82-3411 ✉ h-soumu@withupkys.co.jp

神奈川県秦野市曾屋992
<http://withupkys.co.jp> ⇒

